

導入事例から見るLibreOffice

1

JA福岡市リスク管理課

導入の背景となったもの

- 導入の背景と目的
- 導入前の状況(いろいろな色々…)
- 問題噴出!!・機器一斉更新せな!

P1

【導入の背景・理由】

1. Ms-Office 2003 の正式サポート終了が2014年4月で終了する。
2. 統合オフィスソフト間の機能差がなくなっている。
3. Ms-Office 2007以降、ユーザインターフェースやファイル形式の全面変更が行われている。
4. ファイル形式を含め、特定のソフトに依存する状況から速やかに脱する必要がある。
5. OpenDocument Format(ODF)が国際標準と認定され、共通ファイル形式として整備が進んだ。
6. 総務省:「情報システムに係る政府調達の基本指針」でODFとOOXMLを優先する方針が掲げられた。

【具体的な導入理由と目的】

1. オフィスソフト導入経費の削減
2. 文書の保存・保管の適正化
3. 利用者の利便性向上
4. 多様なプラットフォームへの対応が可能

どうせやるなら!

- 単なる置換えじゃなく
- 一人一台への熱望
- よーし、この台数で決定!

台数を決めてはみたものの・・・

- 台数が増えたら・・・
- 見積り、お願いしてみました・・・

思った以上、それ以上!

- そこんところ、なんとかなりませんか?
- しばれるトコロは残ってる?
- キビシイ現実

あの手・この手で

- オフィスソフトって1つだけ?
- テストしてみたら・・・

そもそも

- Ms-Officeが無くて発生する問題って?

LibreOffice前にテストしていたもの

- OpenOffice2.42 3.00 3.01 3.21

【当時の検証評価】

- 1.ファイル(特にWord)の再現力が低く実用レベルの互換性無し
- 2.起動が遅く・メニュー操作などの動きにモッサリ感が強く動作が鈍い
- 3.BSキーなどの動きがEXCELと違うので困惑する恐れがある

【当時の判定】

個人レベルでの導入は可能だが、JA福岡市での業務利用は難しい。

- LibreOffice3.31 3.40 3.41 3.43 3.44

【検証評価】

- 1.ファイル(特にWord)の再現力が向上、実用レベルと判断
- 2.やはり起動は遅いがメニュー操作のモッサリ感が低減されている
- 3.BSキーなどの動きがEXCELと同じになった

【判定】

JA福岡市での業務利用は可能と判断

【追加した評価ポイント】

- 1.プレゼン(Impress)・作画(Draw)・データベース(Base)が標準装備され、それぞれが連携した利用が可能となる(差込・タックシール等)
- 2.ProやPersonalという区分を意識することなくファイル配布が可能となる

2つあってもいいんじゃない？

- 標準オフィスソフトを決める
- Ms-Officeを業務アプリと位置づける
- 対外向けファイル運用ルールを決める
- ★ ● オフィスソフトは2階建てでイける
- ★ ● 導入・運用を決める際に検討したこと
- ★ ● この事例についても検討しました

ハイブリッド運用!

1. Microsoft Officeと完全互換ではないが？
2. いままでできていた操作・作業がわからなくなるんじゃないの？
3. 最新のOffice2010と比べて機能不足では？
4. ソフトメーカー製でないがサポート体制は大丈夫？
5. 外部とのファイルやり取りで困る事例が発生するんじゃない？
6. VBAマクロがあるExcelシートの対応はどうする？
7. タックシール作成などの作業はできる？
8. 関数の戻り値が変化するんじゃない？
9. PDF作成機能は付属している？
10. Accessで作成しているシステムはどうする？
11. 標準の文書形式をODFとするという形で良い？
12. 内部で利用している様式などが崩れてしまうのでは？
13. Office2010がインストールされている端末でもLibreOfficeを使う？
14. OOXML形式での保存を要求された場合はどうする？
15. 互換的な運用方法を周知徹底できる？
16. 標準フォントが少なくチラシなどを作成するときにフォントが無いけど？
17. クリップアートが少ないけど？
18. 解説本が少なくPCインストラクターが居ないんだけど？

1. Ms-Officeとは完全互換ではないが「実用的な範囲での互換性」はある。
2. ソフト変更による負荷はOffice2010よりもLibreOfficeの方が少ないと判断。
3. Office2003の機能は十分に持っていると判断。
4. ユーザー間のサポート環境が整備されている。
5. PDF・CSVでのやり取りが慣例化しているので問題としていない。
6. VBAマクロがあるシートはマクロの必要性を含め再検討します。
7. タックシール作成機能は持っている。
8. 関数についてのエラーは報告されていない。
9. PDF作成機能は付属している。
10. AccessのシステムはAccessで運用します。
11. 変更不要なファイルはPDF・可変要なファイルはODFという形で保存していく。
12. 内部で利用している様式などはLibreOfficeでのレイアウトチェックを義務付ける。
13. Office2010がインストールされている端末でもLibreOfficeを標準とする。
14. OOXML形式での保存時にはOffice2010が入っている端末を利用する。
15. 互換運用法についてはマニュアル化している。
16. フォント不足時にはOffice2010のPCを使うことで対応します。
17. クリップアートなどはインターネット上の素材を活用する方向で対応します。
18. ソフトは習うより慣れろで運用しているので自宅PCに入れるメリットは大きい。

OpenOffice.orgを導入しなかった理由

1. 都道府県での大規模な導入事例がまだないこと。
2. Ms- Office との互換性が完全でないこと。
3. 国や地方自治体の文書のほとんどがMs- Office で作成されていること。
4. メーカーサポートがないこと。
5. 脆弱性情報が得られにくくアップデート用のパッチも自主的に確認しなければ、その有無さえ分からないこと。
6. 導入後の運用管理コストなどのトータルコストを考えると、経済的メリットも少ないということも予想されること。

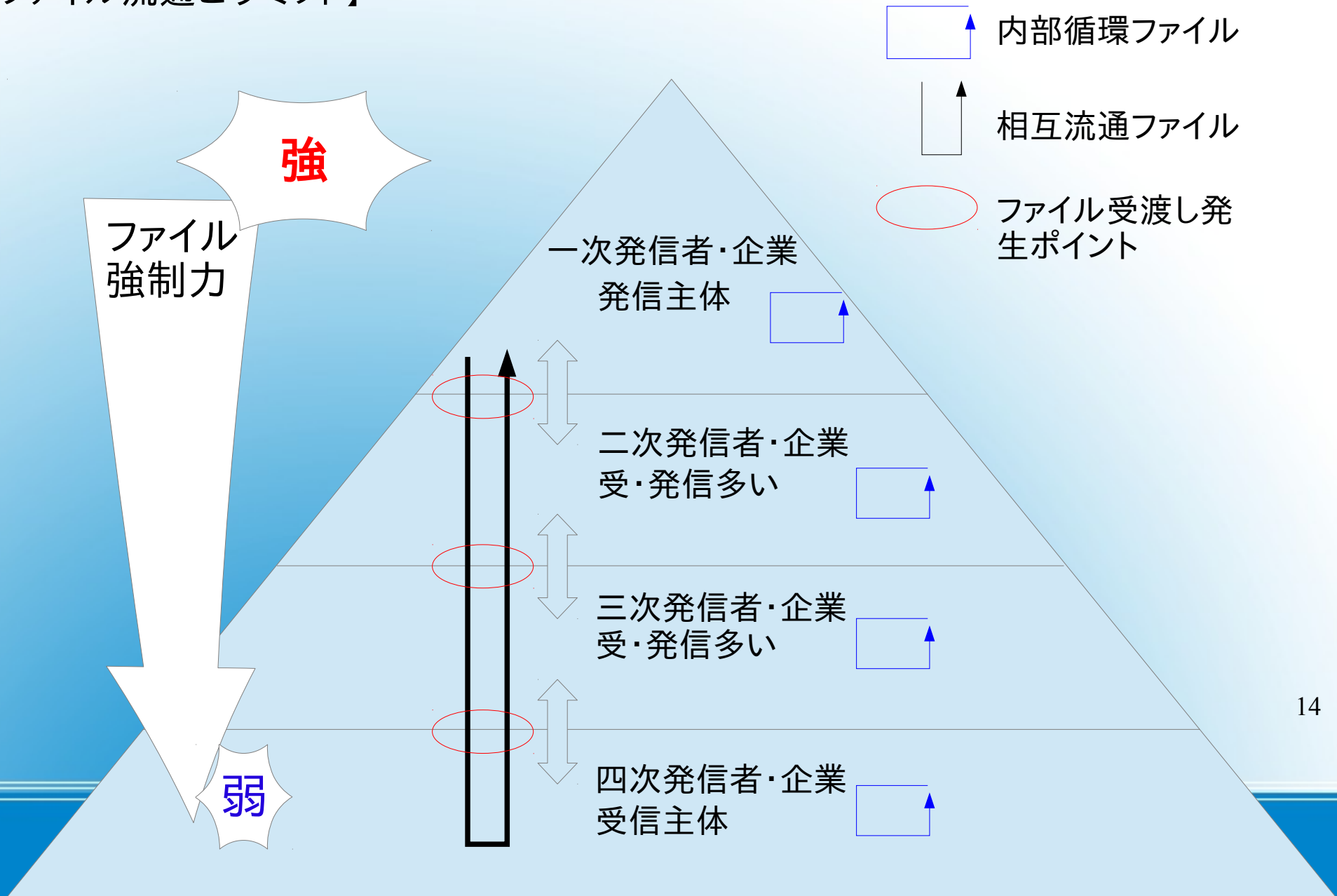
2012年時点で上記を考察してみると

1. 山形県(2011年2月)や徳島県(2011年7月)で導入済。
2. 互換性は飛躍的に向上しており、実用範囲での互換性は有ると考えている。
3. 現状変わらず。
(Office2007導入済の利点を活かし、オープンソフトにも対応できるソフト2階建て運用の環境構築に着手できる。)
4. 有志のサポートがある、どこまでのサポートが必要なのかによって違う
5. 脆弱性情報はネット上で確認できる、アップデート用のパッチは無いがマイナーバージョンアップで対応。
6. 利用者の経済的負担軽減というメリットが発生するのでは？

運用を調べてみた

- どんなファイルが存在している？ P5
- ODF化とMs-Officeで使うファイル P5
- ユーザーを分類してみると？ P5
- 足りない機能って何？ P6
- 互換性って良く考えれば・・・ P7

【ファイル流通ピラミッド】



Officeファイルの用途一覧 (doc ・ xls ・ mdb ・ ppt)

Officeアプリ名	分類	特徴	ODF化
Word	報告書	1~2ページの書類	◎
	お知らせ	1~2ページの書類	◎
	チラシ・パンフレット類	お絵かきソフトの代用作成	◎ Draw
	提出用様式	手書きでの提出が多い	◎
	会議議事録など	統一様式での運用義務アリ	◎
	ワープロ的文書	索引と目次などを自動設定	×
Excel	リスト等のデータ		◎
	実績表などの縦横集計表		◎
	表(グラフ有り)		◎
	常用関数を使った表		◎
	マクロの記録レベルマクロ	解読に一苦労	◎
	独自関数を作って利用	解読に一苦労	ほぼ◎
	マクロを駆使したシステム	外部業者製が多い	×
Access			×
PowerPoint	簡単なプレゼン資料		◎



内部流通ファイルの大部分はODF化できると判断できた

使っているユーザーを分類してみると

【ファイル作成】

ユーザーレベル	特 徴
レベル1:修正すらよくできない	もっぱら閲覧専門でPCの操作が苦手
レベル2:修正しかできない	ちょっとした様式変更にも敏感、応用がきかない、ソフトの基本的な操作方法を我流でやっている
レベル3:再作成できる	弘法筆を選ばず、仕様、様式変更などにも臨機応変に対応できる応用力を持つ

【ファイル閲覧】 職位に関係している場合が多い

ユーザーレベル	特 徴
レベル1:作成しない (例:役員・管理職など)	もっぱら閲覧・チェックし修正/指示のみ
レベル2:作成から修正まで (例:新人～係長など)	閲覧・作成・修正をこなす(こなさなければならない)

クレーム関連

資料:P6

機能が無くクレームが来たもの

Writer: 文字数を指定した均等割り付けが無い (段落単位での均等割付機能はアリ)

Writer: ページ罫線に絵を表示する設定が無い (ページ罫線の機能はアリ)

Calc: シート毎にグリッド線を消す、表示するという設定が無い

Writer: 囲み文字がWordのようにワンクリックで作成できない

フォントワークの縦書き時にワークがワ | クと表示される

操作結果の違いでクレームが来たもの

Calc: セルに設定したコメントがDELキーで削除されてしまう (入力規制で対応可)

Calc: SUBTOTAL関数が入った表でオートフィルタを利用すると、SUBTOTAL関数が入ったセルまでフィルターがかかってしまう

Calc: Excelファイルを読み込んだ場合、シート毎にスタイル設定が必要になるのは面倒

Calc: デフォルトでヘッダーとフッターが設定されているのは煩わしい

その他

- ・ 3.5から、稀にExcelではきちんと開く xlsファイルを読み込んでもエラーとなり開けない事例¹⁷が発生するようになった
- ・ CALCで修正して保存したVBAマクロ付きのxlsファイルをExcel2010で開くとエラーになってしまう (Excel2003ではエラーにならず正常に動作する)
- ・ doc形式のファイルを開き加筆・修正し保存したにもかかわらず、修正が保存反映されない
- ・ 登録された外字が表示されない (会津若松市の事例にて対応できます)

結局、どうなった？

- Ms-Officeを入れたのは？
- Ms-Officeが必要な場合とは？
- 「俺にはExcelが必要だ!」という人々
- マクロについての考え方

Ms-Officeを入れると決めたPCは

1. 外部（自治体や関連団体など）とのMsファイルの相互流通を実施している担当者のPC
2. 各店舗（支店）の窓口職員用に1台配備している共用代表PC
3. Ms-Accessで作成したシステムファイルや高度なExcelマクロを利用しているPC

Ms-Officeが必要な場合とは

1. **日常業務で**外部（自治体や関連団体）から送付されるMsファイルの読み書きが発生する場合
2. 突発的にMsファイルの読み書きが発生した場合
3. Ms-Office固有の機能を利用してシステムを構築している場合（Accessや変更不可能なExcelマクロ等）

各部署に最低でも1台はMS-OFFICEがインストールされたPCを準備します

パソコンのセットアップ

- 一番困ることって? P9
- コレも少ないと困ります?
- インターネットを活用すれば
- みんなちがって、みんないい
- パイロット導入時には? P9

Officeフォントとフリーフォント

代表的なOfficeフォント	対応できそうなフリーフォント	
HG ゴシック E、HGP ゴシック E、HGS ゴシック E	IPA 梅 M+ MigMix	
HG ゴシック M、HGP ゴシック M、HGS ゴシック M		
HG 明朝 B、HGP 明朝 B、HGS 明朝 B		
HG 明朝 E、HGP 明朝 E、HGS 明朝 E		
HG 行書体、HGP 行書体、HGS 行書体	衡山毛筆フォント	
HG 教科書体、HGP 教科書体、HGS 教科書体	IPA	
HG 創英角ゴシック UB、HGP 創英角ゴシック UB HGS 創英角ゴシック UB	}	
HG 創英角ポップ体、HGP 創英角ポップ体 HGS 創英角ポップ体		ポップ体が無い
HG 創英プレゼンス EB、HGP 創英プレゼンス EB HGS 創英プレゼンス EB		
HG 丸ゴシック M-Pro	HC丸ゴシック Rounded M+	
HG 正楷書体 PRO	Tフォント楷書体	
メイリオ、Meiryo UI		
メイリオ、Meiryo UI		

移行作業は PDFから始めよう!

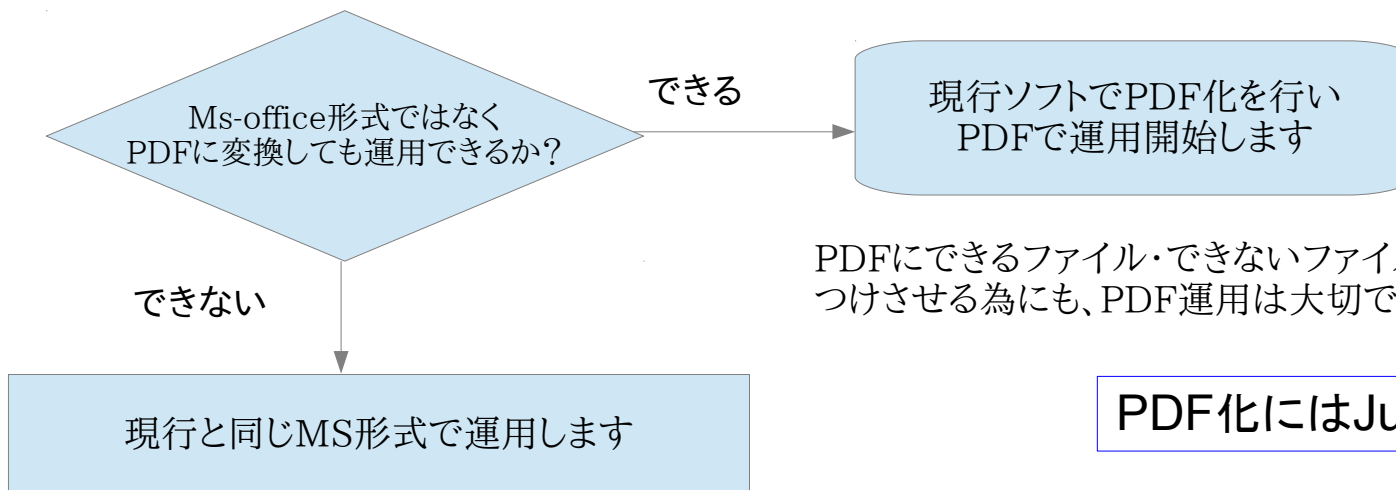
- 修正可能っておかしくない?
- PDFで運用するメリット
- 現行ソフトで変換効率アップ!
- ODF変換を開始しよう!
- 変換作業を頼むのは〇〇〇人に!!
- 移行期間中の運用で注意すること

P12

第一段階: まずは「PDF化からスタート」

期間目安: 3~4ヵ月

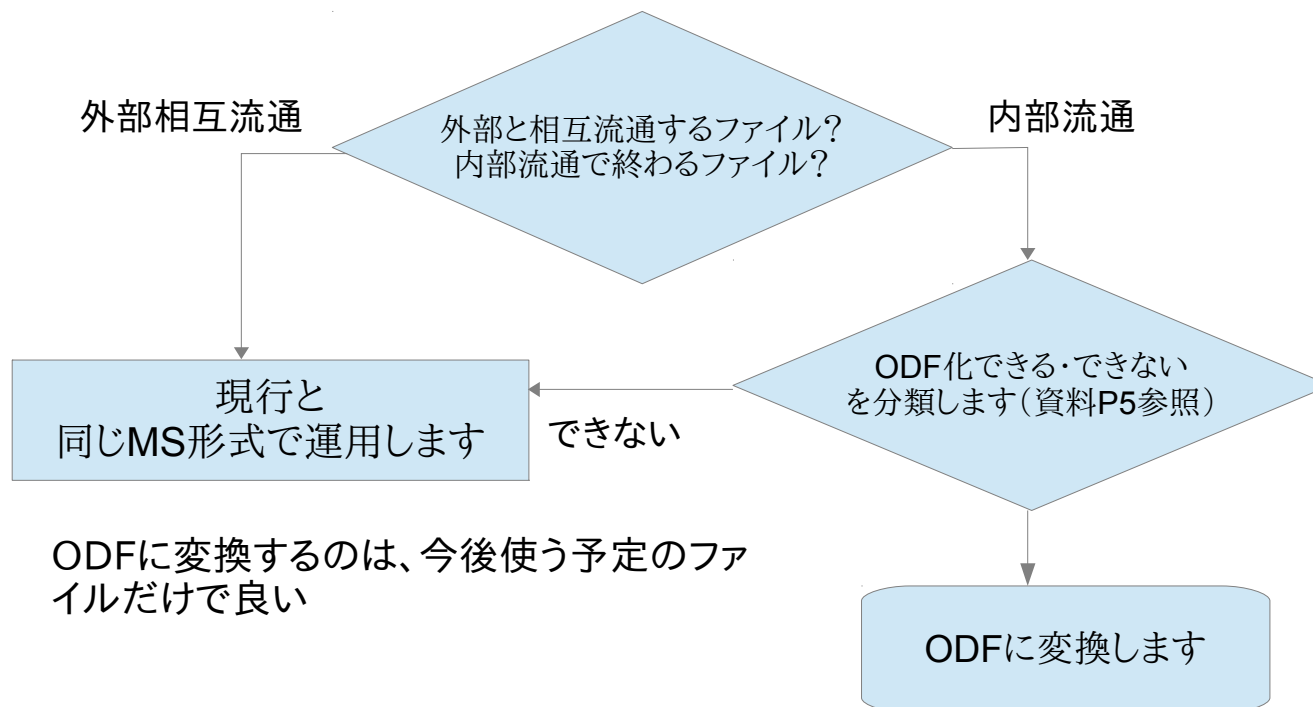
資料P10



PDFにできるファイル・できないファイルを区別する習慣をつけさせる為にも、PDF運用は大切です

PDF化にはJust-PDFを利用しました

第二段階: 利用しているMs-Officeファイルを分類します



ODFに変換するのは、今後使う予定のファイルだけで良い

運用が開始されたなら・・・

- コストだけじゃないんだよ
- きびしく取り締まる
- ファイルを使う時は頭を使いなさい P15
- 外部とのやり取り時は頭と気を使いなさい P16
- クレームを考えると・・・
- その表現やマクロが本当に必要ですか？

クレーム内容と理由をしてみると

- ・ 指定文字数での均等割り付けやVBAマクロ等が動かない:機能不足
- ・ 使い回せたファイルのレイアウト修正が必要になった等:手間が増えたことへの嫌悪
- ・ メールに添付したファイルが読めないと言われた等:いままでと同じでない
- ・ 印刷するとヘッダーとフッターが印刷される等:動作結果が同じでない

ユーザーをしてみると

- ・ ファイルの修正はできるが1から作成する技量は持ち合わせていない
- ・ 自分ができない現実をソフトのせいにする
- ・ 忙しくて他にやることがあるから使い回せるのが一番だと考えている

何故クレームを?

- ・ なんで自分が対応しなきゃならんのか?という怒り
- ・ ソフト変更なんてしやがって!(変更なんてしなくて良いのに!)という怒り
- ・ Ms-Officeにしとけば不要な(と勝手に思っている)作業を押しつけやがって!という怒り
- ・ 時間を取られることが腹立たしい(操作に不慣れなので時間がかかってしまうことをやりたくない)

ということは?

- ・ 勝手にソフトが変わり、自分が労力を強いられることに対する怒りがほとんど。
- ・ いままでと同じ負担で作業できるのであればソフトが変わること自体は問題ではない。
- ・ 現行ソフトのバージョンアップでも何らかの労力を強いられた場合はクレームが寄せられることになる。

25

つまり



今まで以上の労力が必要となった場合、クレームは必ず寄せられるものだと考えられる。

導入後の現況

- ソフトとパソコンの現況
- 移行のメリットとデメリット
- 管理面で楽になったこと
- スタンドアードは免罪符だと思ってない？
- 自分たちでやってみよう

P17

LibreOffice移行のメリット・デメリット

【移行のメリット】

- 1.標準のファイル形式を国際標準規格ODFに変更することができる
- 2.利用者全員が同一バージョンのLibreOfficeを利用することができる
- 3.クライアントOSにWindows以外を選択することができる
- 4.クライアント端末の導入コストを削減することができる

【移行のデメリット】

- 1.ODFファイルのままでは外部へ渡したファイルが開けない場合が発生する
- 2.Ms-Officeで作成したファイルレイアウトが崩れる場合が発生する
- 3.いままで慣れ親しんだ操作方法で作業できなくなる恐れがある(Office2010も同様ですが・・・)
- 4.Ms-Officeでの処理を義務付けられたファイル処理ができなくなる

最後に

- 将来的に目指すモノ



「ソフトの制約なく自分達に最適なOSと最適なオフィスソフトを自由に
選択できる環境を実現したい」

- **今が一番の好機**

ご清聴
ありがとうございました